

〈やられたー！〉

冷たい雨が続いた後、春のような陽気に誘われて二日ぶりに畑に行ってみた。なんと、二日前には何ともなかったキャベツが全て食い荒らされている！。まだ、8個くらいはあったキャベツ、大事に大事に食べていたのだが、あっと言う間に奴らの餌食に！。ブロッコリーの葉っぱを食べているのは知っていた。葉っぱは食べてもいいや、大事な食用部分の蕾を食べられなければと鷹揚に構えていた。しかしよいよい食べものがなくなってきたのか、はたまた“こっちの方がうまいや”と気づいたのか、白菜やキャベツにまで手を（いや、口を）出し始めてきた。数えてみるとその数約20羽、いくら小さいとはいえそれだけの数でつつかれたらひとたまりもない。1～2日で丸坊主になってしまう。白菜はこれから暖かくなると芯が伸びてきて菜の花を咲かせるようになる。その直前の蕾を菜の花あえにして食べる楽しみがある。奴らにその楽しみを奪われてなるものかと、すぐにネットで覆った。暖冬とは言え、まだ1月。毛虫もイモムシもまだ出てこない。秋の木の実は食い尽くし、残るは畑の野菜だけ。仕方ないかと思いつつ、でもみんな食われてしまうのは困る。キャベツは諦め、白菜だけを守ることにした。それにしても、ダイコンやカブの葉っぱには見向きもしない。味が分かるんだろうかと不思議でならない。

ひと段落した後、クリの木に設置した自称“イノッチ砦”に寝転び空を見上げてみた。真っ青な空に白い雲がゆったりと流れ姿を変えながら西から東へと旅をしていた。ゆっくり一呼吸、二呼吸しているとヒヨドリの悪行に腹を立てていたちっぽけな人間が流れる雲に笑われていた。さてと、今夜はヒヨちゃん食べ残しの白菜であったかい鍋でも食べるかな。

